

原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

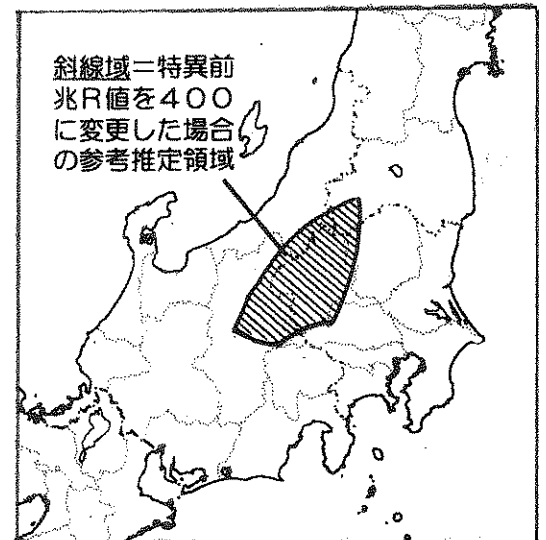
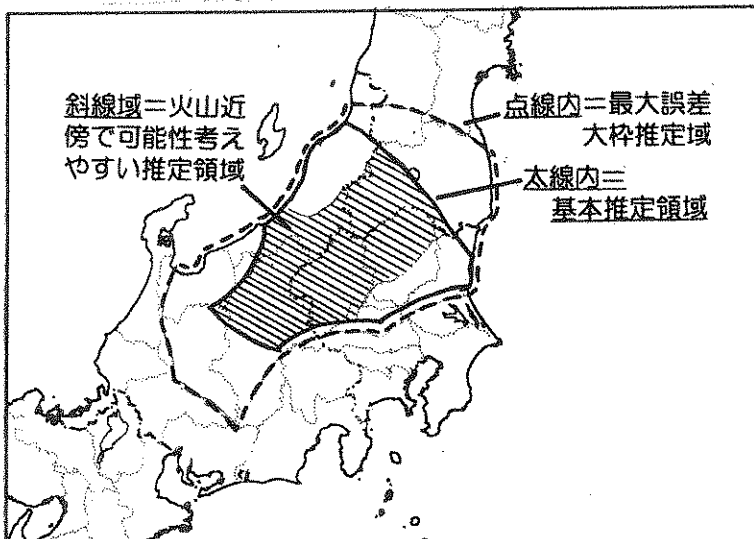
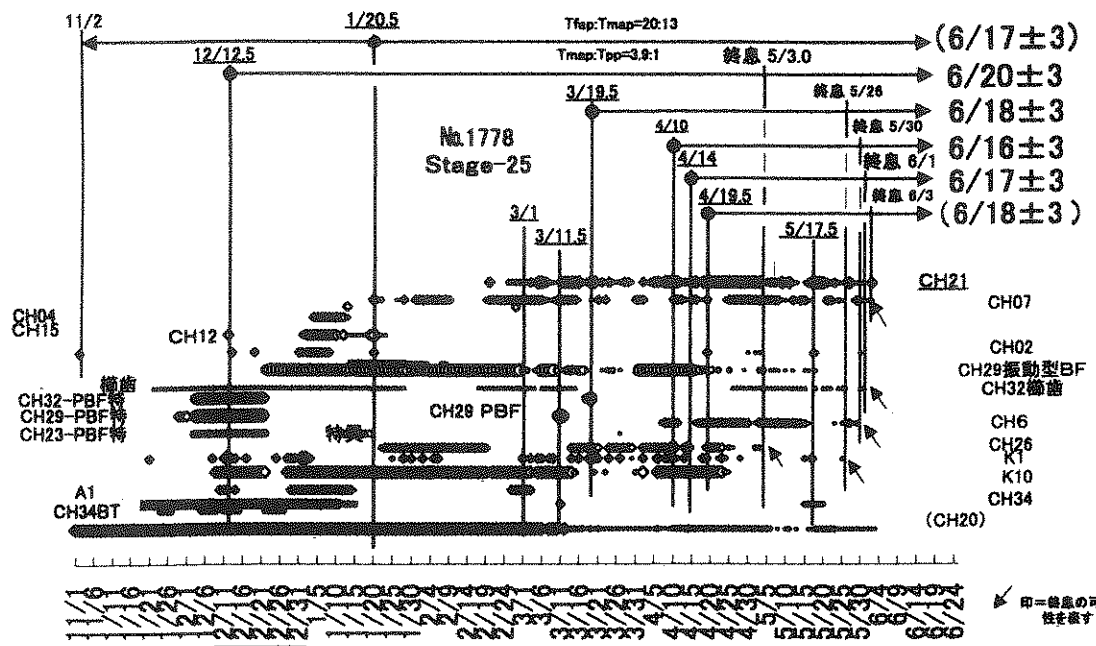
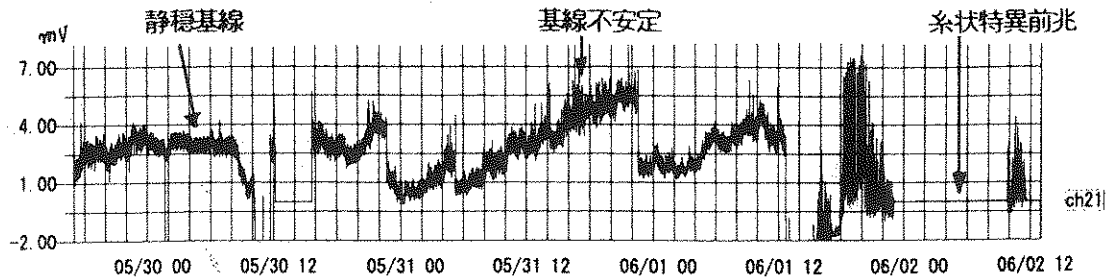
No.1778長期前兆続報 CH21のみ前兆継続→6/18±発生の可能性へ修正

2008年07月より11年近く長期に渡り継続出現しているNo.1778前兆の続報です。前情報で殆どの顕著な前兆が終息傾向となったため、6/20±以前に発生の可能性があると思われました。

6/6±1の可能性も計算されました。しかし右上波形のとおり、ハヶ岳のCH21が基線不安定状態から再び糸状特異前兆出現となりました。

直前特異の可能性も考えましたが、6/18±の可能性の方が考えやすい見解となったため、6/6±1発生の可能性を否定し、6/18±2発生の可能性と修正させて戴きます。

CH7 特異は本日午後から静穏基線のため、右図では一応6/3静穏化として記入しています。今後更に小極大が出現した場合は修正。6/18±発生で正しい場合はCH21前兆は6/11に終息の可能性有。今後を観測し、続報させていただきます。



- ◆推定領域：上左図太線領域内（点線領域内=大枠推定領域）斜線領域=可能性考えやすい 上右図斜線領域=参考推定領域
- ◆推定規模：M7.8±0.5 震源浅い陸域地殻地震（火山にやや近い領域の可能性有）
- ◆推定時期：6月18日±2（今後の観測で修正の可能性有）
- ◇推定発生時刻：午前9時30分±1時間（又は午後4時±3時間）